

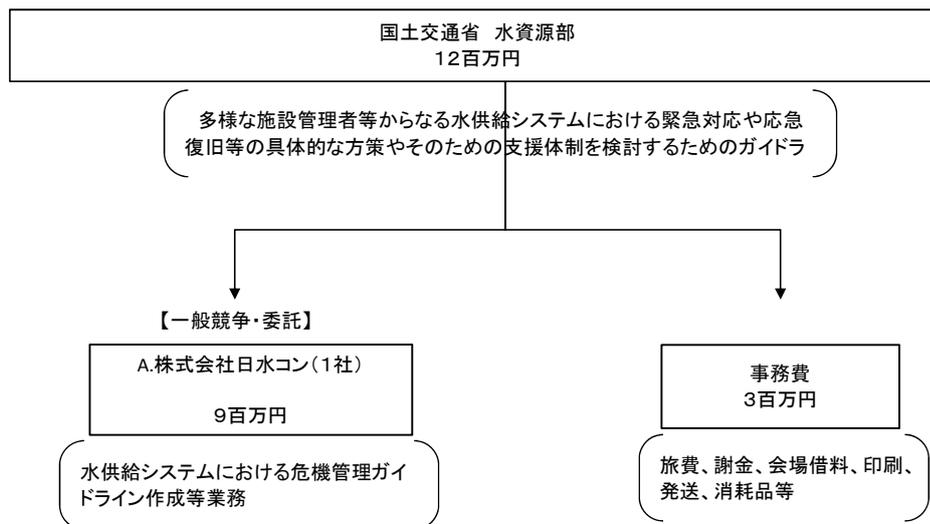
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	水供給システムの安全・安心確保に係わる経費		担当部局庁	水管理・国土保全局 水資源部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22～24年度		担当課室	水資源政策課		課長 寺田 文彦		
会計区分	一般会計		政策・施策名	2 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現 6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	人々の生活や我が国の経済活動に一時も不可欠な水の供給を支える、ダムから取水堰、基幹的水路施設を経てエンドユーザーに至る水供給システムについて、被害が広範囲に及ぶような大規模災害時においても、早急に復旧・対応し円滑に水供給ができるよう危機管理体制を構築し、水使用の安定性を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	農業用水、水道用水、工業用水等、水供給システムの根幹となる大規模多目的施設を有するモデル地区において、地震や洪水などの災害や水質事故等による水供給リスクを把握するとともに、関係者が連携して予防保全措置や危機管理対応を議論・検討することにより、ハード、ソフト両面から危機管理対策を推進する。また、この検討や議論のプロセス等を取りまとめ、危機管理に関するガイドラインとして全国に普及させることで、全国の水供給システムの安全・安心確保に資する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
		計	14	12	16			
	執行額	7	9	12				
	執行率(%)	53%	78%	75%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	多様な水源による都市用水の供給安定度 (水源の多様性を、都市用水使用量に対する、管理しやすい水源(開発水、雨水・再生水等)によって担保された供給量の割合で表したもの)			%	67	69	71	74 (28年度)
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	関係者による危機管理に関する検討会の開催			地区	2 (2)	8 (2)	1 (1)	- ( )
単位当たりコスト	11,940(千円/地区)		算出根拠	H24執行額 11,940千円 ÷ H24活動実績(1地区)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	東日本大震災の教訓を踏まえ、個々の施設単位ではなく水供給システム全体で考える視点や、流域や地域内での対応が難しい大規模災害に対しては全国規模で支える視点により、早急に復旧や対応ができるような危機管理体制を構築する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	契約手続きについては、競争性の高い(総合評価落札方式)により相手方を決定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	多様な施設管理者等からなる水供給システムにおける緊急対応や応急復旧等の具体的な方策やそのための支援体制を検討するためのガイドラインを作成する。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会会場として関係機関の事務所を使用し経費縮減につとめた。</li> <li>・業務発注については、総合評価落札方式より競争性・透明性を高めた契約手続きにより行っているところである。</li> </ul>				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
抜本的な改体の	平成24年度で事業を廃止。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-	平成24年度で事業を廃止。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	188	平成24年	0202

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位：百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
水資源対策調査費	水供給システムにおける危機管理ガイドライン作成等業務	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日水コン	水供給システムにおける危機管理ガイドライン(仮称)の検討	9	2	92.62%
2	-				
3	-				
4	-				
5	-				
6	-				
7	-				
8	-				
9	-				
10	-				